Press Release

2026 年 9 月 2 日
西武鉄道株式会社
株式会社日立製作所

西武鉄道 20000 系が里帰りリニューアルします！

さらなる安全性の向上と乗り心地・利便性の改善を実現

- 2028 年より順次運行開始
- 主要機器更新のほか、導入当初のコンセプトを残しつつ、エクステリア・インテリアデザインを刷新
- 製造元である日立でのリニューアルにより、工期の短縮とさらなる品質の向上を両立

西武鉄道20000系　エクステリアイメージ

西武鉄道株式会社(本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長：小川周一郎、以下「西武鉄道」)と株式会社日立製作所(本社：東京都千代田区、執行役社長兼 CEO：徳永俊昭、以下「日立」)は、西武鉄道 20000 系車両 144 両のリニューアルを実施し、2028 年より順次運行を開始します。本リニューアルは、西武鉄道が長年にわたり運用してきた 20000 系車両について、日立が有する設計・製造の知見を活用することで、その価値をさらに高め、安全・快適にご利用いただくことをめざすものです。

西武鉄道の取り組み

西武鉄道では、安全で快適な輸送サービスの提供を最優先に、新造車両の導入や既存車両の設備更新を進めています。また、環境負荷の低減に向けた取り組みとして、他社からの譲受車両を「サステナ車両[*1]」として有効活用するなど、社会的責務を果たすべく車両更新を進めてまいりました。

2000 年 2 月にデビューした 20000 系は、「環境と人にやさしい」をテーマに製造され、通勤・通学の足として、長年にわたり多くのお客さまにご利用いただいています。

このたび、さらなる安全性の向上と乗り心地・利便性の改善を図るため、20000 系全車両を対象としたリニューアルを実施します。リニューアルにあたり、製造元である日立の笠戸事業所で施工を行うことで、工期短縮とさらなる品質の向上を図ります。

日立製作所の取り組み

日立の笠戸事業所は山口県下松市に位置する国内最大級の鉄道車両製造拠点で、新幹線やモノレールなど多種多様な車両の開発・設計・製造を行います。西武鉄道の歴代の特急車両をすべて製造したほか、多くの主力車両の製造実績を有しています。笠戸事業所で製造された車両が里帰りし、リニューアルを実施するのは初の取り組みであり、本リニューアルを機に、改造専用の設備を用意するなど、施工体制の強化と品質管理の徹底により、安全性・快適性の向上と確実な工期対応に取り組みます。

今後も、既存車両の改造・更新を通じて、車両を長期にわたり安全・快適に活用するためのライフサイクル価値[*2]向上を支援し、持続可能な鉄道サービスの実現に貢献してまいります。

20000 系リニューアル内容

今回のリニューアルでは、一般の乗客が利用する座席や床材などを更新しつつ、荷棚など、今でも利用できる部分を残します。製造時のデザインコンセプトである「シンプル＆クリーン」に基づき、当時のデザインを継承した新デザインへと進化します。さらに、様々な移動ニーズにお応えするため、全車両にフリースペースを設置いたします。

引き続き、お客さまに愛着をもってご利用いただける 20000 系車両を目指し、設備の充実と品質向上に取り組んでまいります。

床は木目調・座席は濃いブルー

全車両に設置するフリースペース(左)と優先席(右)

インテリアイメージ

【別紙】

20000 系リニューアル内容

1. 対象車種

   20000 系　全車両　144 両　(10 両×8 編成・8 両×8 編成)

2. 導入時期

   2028 年より順次

3. リニューアル内容

   (1)機器更新

   - SIV 装置*3・空調装置・モニター装置等の主要機器の更新。
   - 放送装置・非常通報装置等の補助機器更新。

   (2)インテリアデザイン更新

   - 木目調の床面、濃いブルーの座席モケットを取り入れ、西武鉄道らしい「やさしい」空間をめざします。
   - 袖仕切りの大型化や全車両にフリースペースを設置し、多様なお客さまのニーズにお応えするとともに「つながりが伝わるデザイン」を追求しました。

   (3)エクステリアデザイン更新

   - 車両正面波板部をシルバーに変更し、車両側面はストライプと西武鉄道のコーポレートカラーをもとにデザインしました。

4. リニューアル実施場所

   株式会社日立製作所　鉄道ビジネスユニット　笠戸事業所

*1：サステナ車両とは、VVVF インバーター制御を採用した環境負荷の少ない他社譲受車両を指す、西武鉄道独自の呼称です。

*2：ライフサイクル価値とは、車両の導入から更新・廃止までの期間を通じて、安全性・信頼性・快適性に加え、保守や運用のしやすさを含めて発揮される総合的な性能・効用を指します。

*3：SIV 装置とは Static Inverter(静止形インバーター)装置で、架線から得られる高電圧の電力を、車両内の各種機器に必要な電圧に変換し、電力を供給する役割を持つ装置です。

【ご参考】

20000 系について

「環境と人にやさしい」をテーマに開発された車両で、2000 年 2 月にデビューしました。車体の素材にはアルミニウム合金を使用し、大幅な軽量化を実現。走行音を低減させるとともに、電力回生ブレーキの採用と相まって電力消費量を抑え、省エネルギーにも貢献しています。また、車体や座席のクッションなどは、リサイクルにも配慮されています。車内には、車いすスペースやゆったりとした幅広のバケット形座席などを配置し、お客さまに快適にご利用いただける仕様としています。また、西武鉄道の通勤車両としては初めて、ワンハンドル・マスコンや、LED による車外の種別・行先表示器を採用しました。

Hitachi Social Innovation Forum 2026 JAPAN での紹介について

日立と西武鉄道は、日立が 2026 年 9 月 3 日(木)～4 日(金)に開催する「Hitachi Social Innovation Forum 2026 JAPAN」において、9 月 4 日(金)15:00 からのビジネスセッション「BS02-06: 既存アセット×デジタルで拓くサステナブルな鉄道運営」で本リニューアルプロジェクトをご紹介します。

セッションでは、西武鉄道 20000 系車両のリニューアルを通じて、安全性・快適性の向上に加え、製造後 26 年を迎えた車両の価値を継承・進化させる考え方や、鉄道車両のライフサイクル価値向上、持続可能な鉄道運行の実現に向けた取り組みについて講演予定です。

詳しくは、公式サイト(https://www.service.event.hitachi/regist/)をご覧ください。

お問い合わせ先
西武鉄道お客さまセンター
TEL.0570-005-712
音声ガイダンスのご案内により、メニューをお選びください。
[営業時間 9:00～17:00 (12/30～1/3 を除く)]